

新年明けましておめでとうございます。

日頃より電機連合静岡地協の活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年、スポーツ界では大谷翔平選手が日本人選手として初めて米リーグでホームラン王のタイトルを獲得し、その挑戦の姿は世界中に勇気と感動を与えてくれました。

また、新型コロナウイルス感染症が5類移行により日常生活は徐々に戻り、様々な活動が再開すると同時に、新たな生活様式や働き方も定着しつつあります。

しかし、一方ではロシアのウクライナ侵攻の長期化やパレスチナのガザ地区をめぐる軍事衝突などの世界平和を脅かす事態が顕在化しており、これら先行きの見えない海外情勢の悪化など不確実性が一段と高まる昨今の社会において、私たちはますます団結し、連帯の力を発揮していかなければなりません。

こうした中、電機連合静岡地協は本年設立70周年を迎えます。このような節目の年を迎えることができますことは、現役の皆さんは元より、ここまでのすきを繋いでこられた諸先輩方に改めて敬意を表すとともに、心から感謝を申し上げる次第です。我々はこの活動基盤を守り、そして醸成させていくことが役割だと認識しています。そういう意味でも、構成組織の皆さまにおかれましては、引き続きのご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

最後に、課題は山積みですが、全世界に安心・安全な生活が戻ることを願うとともに、2024年が皆様にとって実り多い一年になることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



電機連合静岡地方協議会  
議長 伊佐地豪文